

黎明の里

原作者 帝キネ声屋現代映畫  
脚色兼監督者 内田 菊子 女史  
大森 勝氏



撮影者 二宮 義曉氏

主要役割

小川忠三 大河 慶三氏  
 妻 千代 尾崎 静子嬢  
 娘 お葉 澤 蘭 子嬢  
 弟 勝二 藤井 茂 夫氏  
 村長 西原仙吉 浅野 節 氏  
 弟 健吉 瀬川 銀 潮氏  
 小説家 志村 青木 芳 美氏  
 妻 美那子 二條 玉 子嬢

解説——「自由の天地」について大森勝氏が監督製作した現代劇である  
 略筋——平和な山村に育まれたお葉は純真に人となつたが酒乱の父忠三の爲め村長の弟健吉の許に心にもなく嫁がせられたが最初の條件は何一つ容れられず父にはまた酒乱の日を續けた。お葉は貧困に泣く母と妹達の爲め意を決して西村家を出で、千代葉と名乗つて藝妓となつた。そして小説家志村の愛を受けその理解ある後援の下に暮してゐた。志村の妻美那子も千代葉の身の上に切な同情をよせて何かと慰めてくれた。千代葉の眞情に流石の忠三も改心し彼女の家には久しぶりで平和な囁きが聞かれた。